

はつとふる多職種インタビュー

# 教えて地域のスパンチャリスト



【第1弾】多摩市諏訪クローバー薬局永山店 薬剤師 広上由季様

**佐々木** 新型コロナウイルス対策の遠隔対談ということで、なかなか慣れませんが(笑)

在宅で医療に携わる者として、地域の方々に色々お聴きして学びたい…ということで、今回は諏訪名店街にある『クローバー薬局永山店』様の広上(ひろかみ)薬剤師にお話をうかがいます。よろしくお願ひします。

**広上** こちらこそ、どうぞよろしくお願ひします。

## 直接患者様に接したくて

**佐々木** さっそく質問です。広上さんは、今の職場に来られる前はどこでお仕事をされていたんですか。

**広上** 病院にいました。院内薬剤師をしているうちに「患者様により深く接したい」と思うようになりまして…。

**佐々木** そんな時に、生田目社長とのご縁があった。

**広上** はい。そうなんです。

**佐々木** ご縁あって訪問薬剤師になった今、どのようなご心境ですか。

**広上** ずっと夢でしたので…。いちばんやりたかったことを実現できたという充実感でいっぱいです。患者様の生活のありのままを知って、最善の方法を患者様ご本人と多職種の皆様と『一緒に考えて行動できること』がなによりも嬉しいです。



頼れる街のくすり屋さん

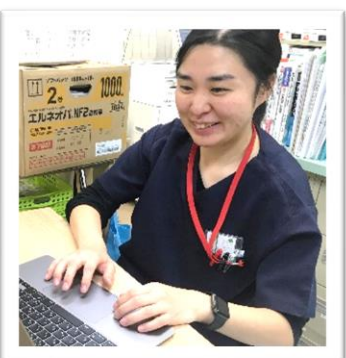
## 『訪問薬剤師』の仕事とは

**佐々木** 私たちも訪問看護師として、地域にあるたくさんの方の薬局様と連携させていただいています。どの薬剤師様も本当に頼もしい存在だと思っています。

ところで、そもそも『訪問薬局』とは具体的にどのような

なものなのか、ご説明いただけますか。

**広上** はい。調剤薬局というところ、病院近くにあつて、お医者様からいただいた処方箋を直接持つていって調剤してもらう…みたいなイメージです。お薬がスムーズに受け取れるので便利です。



クローバー薬局広上様

それに対して『訪問薬局』は、薬剤師が直接ご自宅に訪問し、処方薬をお届けするしくみです。

**佐々木** お医者様からの処方箋の提出先は。

**広上** 処方箋は、医療機関からこちら(薬局)に直接送られてくるんです。患者様を経由しません。

**佐々木** お身体の具合が悪くて薬局まで取りに行けないという患者様もたくさんいらっしゃいます。そのような方々の負担は格段に軽減しますね。

その他に薬剤師訪問のメリットを挙げるとすれば…。

**広上** ただお届けするだけではないんです。例えば認知症の方の服薬管理など、飲み方や管理の仕方を細かく指導させていただきます。また、ターミナルの方のために、管理の難しい薬や医療用麻薬なども扱います。  
**佐々木** 訪問看護師としても大助かりです。看護師だけでなくどの職種も訪問する時間は限られています。そんな状況で医療者による見守りの目がひとつ増えるなんて、とっても心強いです。さらに、その中で服薬指導もしていただける…願ってもないことです。

導入についてですが、患者様はどのようなルートで訪問薬剤師とつながるのでしょうか。

**広上** お医者様やケアマネジャー様からご指示をいただくことがほとんどです。

でも、お困りごことがありましたら、患者様やご家族様が直接薬局にお越しくださることも大歓迎です。店内でなんでもお話を聞かせさせていただきます。

**佐々木** クローバー薬局さんは明るくて清潔感あるお店ですから、気軽に入ってお話しやすい雰囲気ですもんね。ちなみに、お電話で相談しても構わないですか。

**広上** もちろんです。いつでもお待ちしております。

### 訪問看護ステーションとの連携

**佐々木** クローバー薬局様は〜とふる以外にも多くの訪問看護ステーションと一緒に活躍されていると思います。訪問看護との連携についてどのようにとらえていらっしゃるんですか。

**広上** 訪問看護は『介護保険事業所』でもありませんが『医療機関』なので、『暮らし』と『医療』双方の視点から患者様の細かい変化に気付いて連絡をくださいます。その情報をもとに処方提案をすることも多く、大変有意義な連携だと感じています。

**佐々木** こちらも頻繁に調剤レポートが送られてくるのをタイムリーに拜見して、とっても助けられています。

### 価値観・人生観の異なる方に寄り添う

**佐々木** もしかしたら訪問看護と共通する部分

は〜とふる佐々木

もあると思うのですが、『訪問薬剤師の難しさ』というものを、どのあたりに感じますか。



**広上** 訪問するということとは、『相手の生活に踏み込む』ということなんですよね。当たり前ですが、大切にしている価値観や、人生観がひとりひとり全く違うので、その軸を掴むまでに時間も手間もかかります。ここが一番難しいです。

**佐々木** そうですか。だからこそ、心が通じた時にやりがいを感じるわけですね。

**広上** そうなんです！

以前、ある患者様から「あなたが担当になってから、きちんと自分の身体のことを大切にするようになって、薬を飲もうという気持ちになった。どうか最期までよろしくお願いします」という言葉をいただいた時には、思

わず泣いちゃいそうになりました。

**佐々木** ステキなお話ですね。

**広上** 広上さんが訪問をするうえで心掛けていることは、**広上** 安心感が伝わるように努めています。私自身が不安そうにしていると、すぐにそれが伝わっちゃうんです。

私自身がどっしり構えて、心を開いていると、患者様が安心して自然とお話してくださいます。言葉が話せない方であっても、空気で感じるんです。「受け入れていただけた」、安心を届けられたと思う時、この仕事をしていて本当に良かったと実感します。

**佐々木** まさに『現場の感覚』ですね。訪問看護も同じです。ご利用者様のお身体に触れさせていただくお仕事ですから。

### 大切にしている思いを未来へ

**佐々木** クローバー薬局様が大切にしていること、それと今後の将来像をお聞かせください。

**広上** 個人宅でのターミナルケア充実のため、お医者様との連携を大切に考えています。弊社代表の生田目がいつも話している大きな夢ですが、将来的には訪問薬局として多摩地区の医療インフラの重要ポイントになりたいと思っています。

それと『育成の場』として、一人でも多くの『在宅大好き薬剤師』を育て、地域に巣立ってもらいたいと願っています。

**佐々木** 最後にひとことお願いします。

**広上** まずは、シンプルに『薬剤師がご自宅におうかがいできる』ことを多くの方に知っていただきたいんです。『薬剤師が関われば、薬物治療の質が上がる』ことを実感して欲しいと思います。在宅療養する方の健康維持に貢献できることが医療者としての大きな喜びです。

**佐々木** このたびは、貴重なお話を本当にありがとうございます。ございました。

(聴き手：訪問看護は〜とふる多摩センター主任 佐々木芽)



明るく落ち着いた店内